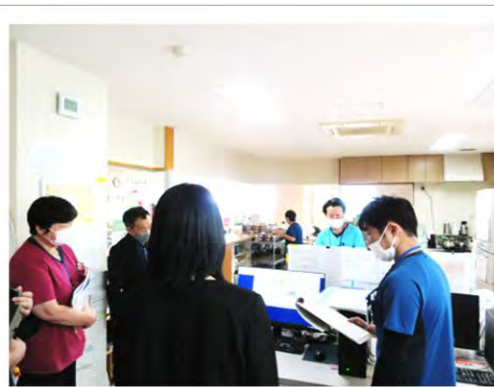


愛寿会たより

夏号

第259号
令和7年
5月発行

令和7年5月26日 眠りスキャン視察の様子



導入の背景

仁生園が「眠りSCAN」を導入した背景には、高齢者の抱える睡眠障害や夜間の不安を解消し、

- ・ 睡眠の質の向上…入居者の睡眠パターンを詳細に把握し、個別のニーズに合わせたケアが可能になります。
- ・ 安全性の強化…センサーマットが体動や呼吸の異常を検知し、即座にアラートを発信することで、迅速な対応が可能です。
- ・ ケアの効率化…データの可視化により、スタッフは夜間の巡回を効率化し、他のケア業務に集中できるようになります。

「眠りSCAN」とは？
「眠りSCAN」は、非接触型センサーマットを使用した高度な睡眠モニタリングシステムです。このシステムは、入居者の体動や呼吸状態をリアルタイムで感知し、睡眠の深さや状態をスタッフがモバイルデバイスで確認できる機能を提供します。異常が検知されると即座にアラートが発信されるため、迅速な対応が可能です。
このシステムにより、次のような効果が期待できます。

高齢者のQOL（生活の質）向上は、介護施設における重要な課題の一つです。特別養護老人ホーム仁生園では、こうした課題に対処すべく、先進的な睡眠モニタリングシステム「眠りSCAN」を導入しました。本特集第一回では、専門家の視点から「眠りSCAN」の技術的概要と、仁生園での導入背景について詳しく解説します。

【特集第一回…高齢者ケアの革新、パラマウントベッド社製「眠りSCAN」を導入した特別養護老人ホーム仁生園の挑戦】

生活の質を向上させるという使命がありました。従来のケア方法では限界があったため、先端技術を活用して効果的なケアを提供することが求められました。ICT、DXの先進施設を視察した結果、仁生園は「眠りSCAN」を最適なソリューションとして採用しました。

導入プロセス

システムの導入に際して、まず市場調査を行いました。「眠りSCAN」が最適であると、判断しました。次に、スタッフがシステムの操作方法やデータの解釈法について丁寧なトレーニングを受けました。これにより、スタッフはシステムの機能を最大限に活用できるようになりました。

一部の入居者を対象に試験運用を実施し、その結果を基にシステムの設定や運用方法を調整しました。試験運用のデータは非常に有益であり、システムの効果を実証するための基礎データとなりました。

初期成果

初期段階での成果としては、以下の点が挙げられます。

- ・ 睡眠障害の早期発見…センサーによる詳細なデータにより、従来の観察では見逃されがちだった睡眠障害が早期に発見され、医療介入が迅速に行われました。
- ・ 入居者の安心感向上…夜間の巡回が効率化され、必要時に迅速な対応が可能となり、入居者の安心感が大幅に向上しました。

・業務効率化…データの可視化により、スタッフの業務が効率化され、より多くのリソースを他の重要なケア業務に集中できるようになりました。

常務理事園長のコメント

仁生園の常務理事園長である竹中洋氏は、「眠りSCANの導入にあたり、ICT、DX先進施設を視察し、多くの知見を得ることができました。こうした機器を各職員がしっかりと活用することで、今まで以上に質の高いケアを提供できるようになり、入所者及びご家族の皆さんが安心してご利用できる環境を整えることが私たちの使命です。これからもテクノロジーを活用し、さらなるサービスの向上を目指していきます」と語っています。

専門家の評価

パラマウントベッド社製の「眠りSCAN」は福祉業界全体からも高い評価を受けています。特にエビデンスに基づくケアの実現と、スタッフの負担軽減に寄与している点が評価されています。また、入所者のQOL向上に直接的な効果をもたらしていることから、さらに他の施設への導入も進むことが期待されています。「眠りSCANは、介護施設におけるICT活用の好例であり、他施設でも同様の効果が期待できる。介護業界全体に新たな標準を提示している」と高く評価しています。

未来への展望

仁生園では、今後も「眠りSCAN」を活用しさらに質の高いケアを提供することを目指しています。テクノロジーと人の温かみを融合させた取り組みは、これからの高齢者ケアの新たなスタンダードとなることでしょう。

本特集では、次回以降、具体的なケーススタディを通じて、「眠りSCAN」がどのように入居者の生活を変えたかについて詳しくご紹介します。お楽しみに！

第二百三十七回理事会 令和七年第一回評議員会

が開催されました

令和七年度事業計画と当初予算の議案等が、審議承認されました。主な内容をお知らせします。

(一) 令和六年度 一般会計補正予算について

収入については、下半期の実績に基づいて補正予算を編成しました。支出については、当初の予算を超える場合や計画外などの支出について、新たに予算を増額して補正予算を計上しました。資金運用の適正化を図ることを目的とした補正予算は承認されました。

(二) 令和七年度事業運営方針及び事業計画について

各サービス部門では、入所（利用）者本位のサービスの提供を中心とした各種計画等が提案され、承認されました。

(三) 令和七年度一般収支会計予算について

令和七年度当初予算（案）は、令和六年度における月次決算の実績等に基づいて、支出を最小限に抑えた予算案を作成し審議承認されました。計画に従い円滑に事業運営を実施してまいります。

(四) 規則及び規程の改正等について審議承認されました

- ・就業規則の一部改正について
- ・職員給与規程の一部改正について
- ・期間雇用職員規定の一部改正について
- ・経理規定の一部改正について

(五) 定時評議員会の開催について

理事会にて、定時評議員会を令和七年六月十九日に開催することが承認されました。

報告事項

- ・外国人特定技能者（ミャンマー国）の受入れについて
- ・ICT機能の充実のための機器の導入（補助金活用）について
- ・仁生園介護相談センター 居宅介護支援事業所による介護予防支援の指定申請について



令和 7 年 3 月 19 日評議員会



令和 7 年 3 月 19 日理事会

山梨県社会福祉協議会様による「眠りSCAN」視察レポート

令和七年五月二十六日（月）、山梨県社会福祉協議会様が仁生園を訪問し、最新の睡眠モニタリングシステム「眠りSCAN」の導入状況を視察されました。訪問の目的は、介護現場における先進技術の活用状況を理解し、今後の福祉施策に活かすこととあります。

歓迎とシステムの概要説明

視察は仁生園会議室で始まり、園長からの心温まる歓迎の言葉がありました。その後、施設の概要と「眠りSCAN」の導入背景および目的についての説明が行われました。眠りSCANは利用者様の睡眠状態をリアルタイムでモニタリングし、異常を検知するとアラートを送信するシステムです。これにより、転倒防止や健康管理が劇的に向上し、利用者様とご家族に大きな安心感をもたらしています。

デモンストレーションと実用事例の紹介

眠りSCANの実演が行われました。スタッフがシステムの操作方法を詳細に説明し、実際の利用事例を紹介しました。一号室には「眠りSCANeye」も導入されており、アラート発生時にリアルタイムで映像をポップアップ表示する機能があります。これにより、夜間でも迅速に状況を把握し、即時対応が可能です。例えば、ある夜間に利用者様が異常な動きを示した際、すぐに職員が対応し、事故を未然に防いだ事例が紹介されました。

質疑応答とディスカッション

その後の質疑応答では、山梨県社会福祉協議会様から多岐にわたる質問が寄せられました。施設スタッフは、システムの技術的な側面や導入後の具体的な効果について丁寧に回答し、活発なディスカッションが展開されました。特に、システム導入による職員の業務効率化や介護の質向上について多くの関心が寄せられました。

施設見学と意見交換

視察団は、眠りSCANが実際に使用されている居室を見学し、システムの運用状況を直接確認しました。その後、視察の感想や今後の展望についての意見交換が行われ、技術導入を通じて介護現場の革新性についての理解が深まりました。また、システム導入が利用者様の睡眠パターンの詳細な把握を可能にし、個別の介護計画の策定に役立っている点が評価されました。

導入の効果と未来への展望

眠りSCANの導入により、利用者様の生活の質のみならず、職員のスキル向上や業務の効率化が実現しました。具体例として、ある利用者様の排泄パターンを精密に分析し、それに基づく介助のタイミングを調整することで、利用者様の睡眠の質を向上させることができました。さらに、看取り期の利用者様のデータを医療従事者と共有し、早期に適切なケアプランを策定する取り組みも進めています。

視察は記念撮影の後、山梨県社会福祉協議会様を丁重にお見送りしました。

仁生園では、今後も「眠りSCAN」を活用し、より安全で安心な介護環境の提供を目指してまいります。私たちは、このシステムを通じて、介護の未来を切り拓く一助となることを心より願っています。



苦情解決相談委員会報告

社会福祉法人愛寿会では、事業利用に関する苦情に対し、適切に対応することで利用者個人の権利を擁護し、福祉サービスの適切な利用を支援しています。そのため、第三者委員による苦情解決相談委員会を設置し、中立公正な対応を確保しています。この委員会は、社会福祉法や介護保険法に基づき、利用者からの苦情を受け付け、適切に対応することが義務付けられています。

【苦情受付状況】 令和六年四月一日から令和七年三月三十一日の期間における相談及び苦情の受付件数は、いずれも〇件でした。これは、利用者の皆様がサービスに満足していただけている証拠とも言えます。



【苦情解決相談窓口】

◇苦情解決相談第三者委員

- ・ 清水 長治（長坂町）
- ・ 小林 まち子（小淵沢町）
- ・ 浅川 一広（大泉町）
- ・ 小宮山 ひろみ（高根町）

◇苦情解決責任者

- ・ 竹中 洋（仁生園園長）
- ・ 小林 初男（第二仁生園園長）

◇苦情受付担当者

- ・ 久保倉 正二（法人事務局長）
- ・ 森田 悦子（ケアサービス部長）
- ・ 坂本 仁（事務企画部長）
- ・ 渡邊 理恵（第二仁生園）

愛寿会では、今後も利用者の権利を守り、安心して福祉サービスを利用できる環境の整備に努めてまいります。苦情解決相談委員会は、福祉サービスの質の向上と利用者の権利擁護を目的としており、社会福祉法や行政のガイドラインに基づいて、設置されています。これにより、利用者の皆様が安心してサービスを利用できる環境を提供しています。皆様からのご意見やご相談をお待ちしておりますので、何かありましたらお気軽にお知らせください。

北杜市減災出前塾講座



令和七年三月二十二日（金）、特定非営利活動法人「減災ネットやまなし」理事長の向山建夫様をお招きし、社会福祉施設の減災対策講座を受講しました。減災は、一九九五年に発生した阪神淡路大震災から生まれた取り組みであり、大災害に対する現実的かつ合理的な対応が重要視されています。

減災の基本となるのは、自助（自分自身の身を守る）、共助（身近な人々と協力して助け合うこと）、公助（政府や自治体・公共機関による支援）の三つの柱です。

これらが連携することで、効果的な災害対策が可能となります。社会福祉施設においては、ご利用者の安全を守るために冷静で迅速な対応が求められます。防災教育や訓練の際のポイントについて、向山理事長から基本的なご指導をいただきました。

特に、災害用伝言ダイヤルの活用方法については、多くの職員が「目から鱗が落ちる」思いで学びました。このダイヤルは予備知識がないと活用が難しいとされているため、今後の訓練で習得を目指します。

また、減災対策においては、以下のような課題も考慮する必要があります。

- ・ 移動困難者の対応
- ・ 認知症の方への配慮
- ・ 医療ケアが必要な方への支援
- ・ 人材不足

北杜警察署より感謝状授与

令和七年二月二十八日、北杜警察署より感謝状を頂きました。今年度も「平素より警察行政に深い理解と関心を寄せられ警察活動に多大な協力をされました」と、当法人が表彰されました。

今後もより一層、警察行政や地域の活動に協力をさせて頂き、貢献できるよう精進して参りたいと思います。



これらの課題に対処するため、継続的な訓練を実施し、課題の洗い直しと経験の積み重ねが重要です。さらに、日頃から災害時の支援体制を構築するため、地域住民との交流や消防署、専門家との連携を図り、正しい知識を持ち適切な対応ができるよう努めてまいります。

百寿のお祝い



令和七年一月二十八日・二月七日、北杜市より百寿のお祝いをして頂きました。

いつまでも元気に楽しく過ごして頂けるように、職員一同精一杯お世話をさせて頂きます。お健やかにご長寿を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。



特別養護老人ホーム仁生園

「一号館三階のフロアで大人気の
レクリエーション「カラオケ」」

一号館三階のフロアでは、レクリエーションといえば「カラオケ」というほど、皆様に大変人気のある活動となっています。

五十歳代から百歳代まで幅広い年齢層の利用者様がいらつしやり、それぞれの年代に合わせた曲が流れると、自らマイクを手に取り歌を披露したり、一緒に口ずさんだりして楽しんでおられます。



カラオケは、身体に不自由がある方でも気軽に参加でき、音楽や雰囲気を楽しむことができるため、普段はあまりレクリエーションに参加されない方もカラオケならと参加して下さいます。そのため、カラオケ機器の周りにはいつも二十名以上の利用者様が集まり、大いに盛り上がりつつあります。また、職員も歌を披露し、利用者様からの拍手や歓声をいただくことで、皆さんに楽しんでいただけていると感じています。

さらに、近年では技能実習生の雇用が増え、彼らが踊りを披露する場としてもカラオケの時間を活用しています。言葉の壁やイントネーションの違いなど、現代とは異なる背景を持つ外国人実習生たちですが、カラオケを通じてコミュニケーションを図り、利用者様との距離が縮まっています。



グループホーム やすらぎ

「お花見ドライブ」

長い冬がようやく終わり、こぼしやまんさく、れんぎょうの花が林の中に彩りを添え始めると、「やすらぎ」のリビングの窓から見える桜の枝の蕾も色づき始め、毎日の話題となります。入居者様たちの間では、お花見ドライブへの期待が日に日に膨らんでいきます。

今年も桜の季節がやってきました。実相寺の桜が満開との情報を受け、四月十日に第一回目のお花見ドライブを武川方面へ向けて実施しました。

最初に訪れた「真原の桜並木」は八分咲きでしたが、桜がトンネルのように続く景色に皆様大歓声。



利用者様も彼らを応援し、笑顔で見守ってくださることで、素敵な関係が築かれています。

今後も、皆様が楽しみを感じられる生活を提供し、共有できる活動を行っていきたくと考えています。これからも1号館3階のフロアでのカラオケを通じて、皆様に笑顔と交流の場を提供してまいります。

駐車はできなかったものの、「これだけでも満足」との声が上がりました。その後、せっかくの機会を活かそうと、万休院近くの水車小屋のあるゲートボール場に車を止め、散策を楽しみました。満開の枝垂桜、水仙やチューリップが彩る足元、大きな錦鯉が泳ぐ池と、春の風景を存分に堪能しました。持参した麦茶で喉を潤しながら、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

帰り道にはオオムラサキセンターや北杜高校の満開の桜も眺めることができました。春の訪れを感じながら、「次は清春か小淵沢か」と、次のお花見ドライブの話題で盛り上がる毎日です。



グループホーム「こあらま

くポップサーカス」

三月上旬はまだ少し肌寒いも、日差しは冬よりは温かく春の到来を肌で感じられる日々が続きました。来たる三月十四日にグループホームやすらぎ・こあらまの入居者様四名と職員で、ポップサーカスを観に行かせていただきました。天気にも恵まれ現地向かう車内では、外の景色を眺めながら昔話に花が咲きました。



開演前に隣の敷地にあるショッピングセンターのフードコートで一息つき「昔子供と一緒にサーカス観たよ。」「子供の頃はサーカスくらいしか楽しみが無かったんだよ。」などと色々な話をしながら、久しぶりの外食を楽しまれ笑顔で舌鼓を打っております。



方に案内され、各々席に着き今か今かと期待に心を膨らましてしていると、会場が暗闇と共に静寂に包まれました。次の瞬間、大きなブランコが客席間近まで登場し驚きと共に歓声が響き渡り、いよいよサーカスの幕開けです。

ジャグリングやイリュージョン、一輪車での華麗な演目、リボンアクロバット等目を見張るショーが繰り広げられました。ハラハラドキドキの連続で、時には拍手も忘れて見入っていました。コミカルで可愛いクラウンの動きには、自然と笑みがこぼれていました。

最後に、空中ブランコの息をのむ圧巻のパフォーマンスで終了し、会場を後にしました。「すごかった。もう一度みたいね。」「楽しかったね。」と喜んで下さいました。再び夢のような空間を一緒に過ごせる日が来るのを心待ちにしております。



第二仁生園

くランチバイキング開催」

四月三十日、待ちに待ったランチバイキングを開催しました。当日は十時前から並ぶ利用者様もいらつしやり、十一時三十分の開始時には長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。

メニューは、利用者様からのリクエストに応え、飾りいなり寿司、焼きそば、ラザニア、唐揚げ、しらすパゲティ、ケーキなど合計十一種類を用意しました。

「おかわりお願いします！」とすぐに二回目を楽しむ方や、ゆっくりと味わう方、そして厨房職員と和気あいあいと会話を楽しむ方など、会場はなごやかな雰囲気になりました。早くも「次はいつですか？」との声上がり、五月の嗜好調査で皆様のご希望を伺い、次回の計画を進めてまいります。



進藤三郎様より花のご寄付を頂きました

令和七年四月二十五日に、進藤三郎様より沢山の花のご寄付を頂きました。

デイサービスセンターと正面玄関に飾らせて頂きました。

来園された皆様からも、「キレイな花ね」と言っていたきました。

進藤様、とても素敵な花をありがとうございました。



坂本充様、貴重な絵画二十二点を寄贈

この度、坂本充様より、貴重な絵画二十二点のご寄贈を頂きました。坂本様はその独特な画風と深い感性で広く知られており、多くの人々に感動を与えてきました。今回の寄贈は、その才能と心意気を象徴するものであり、私たちに与えて大変な喜びと感謝の念を抱いております。

寄贈された絵画は、施設内での文化振興や利用者様の情操教育の一環として活用される予定です。これらの作品は、内部のイベントや展示で利用者様にご覧いただけるよう計画しております。具体的な展示の詳細については、後日改めて関係者にご案内いたします。

坂本様のご厚意により、私たちは新たな芸術の魅力を発見する機会を得ました。これからも利用者様の生活の質の向上や文化的な豊かさを提供できるよう、努力して参ります。

改めまして、坂本充様のご寄贈に心より感謝申し上げます。

愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等が

ございましたら左記までご連絡ください。

仁 生 園 電話 0551 (32) 3340
第二生園 電話 0551 (32) 8270

お心遣いをいただき、

心から感謝申し上げます

(令和七年三月一日)

令和七年五月二十五日

・ 三井 和浩 様



2023 年山梨県民文化祭
入選作品



作家 坂本 充 略歴

1960 年 (昭和 35 年)

北巨摩郡長坂町上町 (小池衣料品店) に生まれる

長坂小中学校 峡北高校 文教大学

1984 年 (昭和 59 年)

長坂中学校から中学校教師として勤務

2017 年 (平成 29 年)

退職

2019 年から 2023 年

二科山梨支部に同人として所属 現在無所属

受賞歴

2005 年 (平成 17 年)

第 50 回記念山梨県勤労者美術展 入選

2017 年 (平成 29 年)

第 30 回上野の森美術館 日本の自然を描く展入選

以後第 37 回まで毎年出品して入選

第 27 回全日本アートサロン絵画大賞展入選

2018 年 (平成 30 年)

第 32 回日洋展 小品部門入選

以後 第 33 回 第 35 回から第 37 回入選

2019 年 (令和元年)

第 9 回二科山梨支部展優秀賞

第 104 回二科展入選 (初入選) 以降第 107 回まで毎回入選

第 19 回山梨県民文化祭 入選以降第 23 回まで毎回入選

2022 年 (令和 4 年)

山梨美術協会展 入選

以降毎年入選

2024 年 (令和 6 年)

第 70 回記念一陽展 奨励賞

2025 年 (令和 7 年)

第 1 回 ART in 静岡入選

来園の皆様へのご願ひ

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策をしています。ご不便をおかけ致しますが、ご理解を頂き、厳守していただく様、お願い申し上げます。

- ◆ 正面玄関を施錠しております。御用の方はインターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆ 来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆ 最少人数でご来園ください。
- ◆ 体調に少しでも不安がある方は、事前に来園をお控えください。

☆面会に関するお知らせ

☆正面玄関横にてガラス越しでの面会及び、施設外から「FaceTime」を利用した面会に加え、喫茶いこいでのアクリル板越しの面会を再開いたしました。

- ◆ 電話による事前予約が必要ですが(電話をいただいた日の一週間後から予約を承ります)。
- ◆ 来園前の二週間は、ご自宅

- ◆ 面会時間帯は午前九時半～十一時の間で十五分間です。
- ◆ 少人数での面会にご協力ください。

☆仁生園では、ご家族様をお持ちの iPad、iPhone を利用した「テレビ電話形式」の面会が可能ですのでご利用ください。希望される場合は、ご予約ください。

※感染症の状況に依り、急な面会制限をする場合がございます。お電話でお問い合わせいただくか、当法人のホームページにてご案内しておりますので、ご利用ください。



求 人 募 集



社会福祉法人 愛寿会

福祉総合生活支援センター 仁生園

障害者支援施設 第二仁生園

介護保険サービス

特別養護老人ホーム仁生園



定員 132 名

仁生園ショートステーション



定員 19 名

仁生園デイサービスセンター



定員 25 名

仁生園介護相談センター



定員 100 名

障害福祉サービス

グループホームやすらぎ・こあらま



定員 9 名 2 ユニット

障害者支援施設第二仁生園



定員 30 名

第二仁生園ショートステーション



定員 3 名

第二仁生園相談支援センター



【募集内容】

1. 介護職員、生活支援員

特別養護老人ホーム・ディサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、有資格者平均年収 430 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、夜勤勤務他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩

●夜勤 17:00~9:00 内 4 時間休憩

2. 看護師(正看、准看)

特別養護老人ホーム・ディサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、平均年収 470 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、オンコール他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩

●遅番 9:00~18:00 内 1 時間休憩

【お電話またはメールにてご相談ください】

連絡先 社会福祉法人 愛寿会 本部事務局 採用担当 統括施設長 竹中まで (平日 8:00~17:00)

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間菅間 1293 番地

TEL:0551-32-3340(代表) FAX:0551-32-3546

URL:<http://www.aijyukai.com>

E-Mail:jinseien@poem.ocn.ne.jp



Facebook



ホームページ